



大雨！台風！台風！ ごみ処理に追われた秋

台風 26 号によってうち上がった大量の缶 藤沢市片瀬東浜

台風の直撃のない夏を過ごし、このまま静かな秋を迎えるのかと思ったら、やはりそうはいきませんでした。9月から10月にかけて、大雨そして台風の襲来を連続で受け、神奈川県のある海岸にも大きな被害ができました。特にごみの漂着が多かった3つの大雨・台風では、通常の清掃に加え、国から県に交付される地域環境保全対策費補助金（海岸漂着物地域対策推進事業）を活用した直営清掃部隊も投入、さらに、緊急清掃を実施し、フルパワーでごみの回収にあたりました。

9/5【大雨】



藤沢市片瀬西浜

9月5日、寒冷前線の影響で大気が不安

定な状況となり、関東で大雨となりました。神奈川県のある海老名市では4日からの雨量が240ミリを超え、平年の9月ひと月分の雨量に相当する雨が降りました。

その影響で、藤沢市には境川・引地川、平塚市・大磯町には金目川から流れ出た人工ごみ混じりの木くずが大量にうち上がりました。

9/16【台風18号】

9月16日に愛知県豊橋市付近に上陸した台風18号は、その後も勢力を維持したま



小田原市酒匂川河口部

ま関東地方を北東に進みました。このため、関東地方は大荒れの天気となり、暴風や激しい雨に見舞われました。場所によって漂

着量にムラがあったのが台風18号のごみの特徴で、特に酷かったのが、横須賀市観音崎・三浦市金田海岸・葉山町森戸海岸・逗子市逗子海岸・茅ヶ崎市漁港西・平塚市袖ヶ浜・小田原市酒匂川河口部でした。

10/16【台風26号】

10月16日の午前中に関東地方に最接近した台風第26号の影響により、関東甲信地方は大荒れの天気となり、伊豆大島では大規模な土砂災害が発生したほか、各地で大きな被害が発生しました。

台風通過直後は、さほどごみの漂着は確認できませんでしたが、その二日後から、それまでの台風で流されてきて海底に沈んでいたと思われる缶が大量に海岸に漂着しました。

逆に、台風通過後にあまり強く南風が吹かなかったのと、それまでの台風などですでに相当量が流れ出てしまったために、木くずやビニールやペットボトルなどのごみは少なかったです。